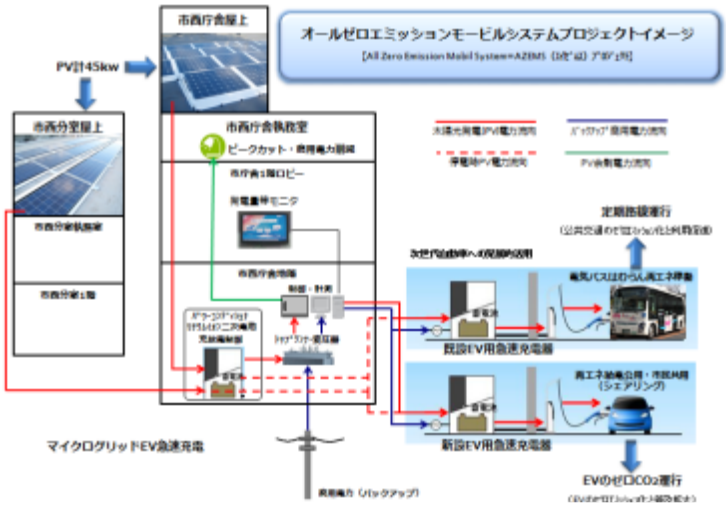
グリーンプラン・パートナーシップ事業（1号事業） 概要説明

1. 事業概要

実　施　主　体	東京都羽村市	実　施　場　所	東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 羽村市役所
共 同 実 施 者	ー	推　　薦　　者	ー

2. 事業内容

事　業　名　称	AZEMSプロジェクト 【All Zero Emission Mobil System=AZEMS（ｴｲｾﾞﾑｽ）ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】				
導　入　設　備	太陽光発電設備 45kw　　リチウムイオン蓄電システム搭載急速充電器 1基				
26年度補助金交付希望額	3,960,000円（実施設計）	実施予定期間	平成26～27年度	事業実施後のCO2削減効果（見込）	23.14t-CO2／年
事　業　内　容	市庁舎陸屋根部分に45kw程度の太陽光発電設備（PV）を設置し、再生可能エネルギー供給源とし、この電力を二次電池に蓄電した上で、市内路線バスである電気バスはむらん及びEV用の急速充電設備と市庁舎へ供給。 本事業の特徴は、急速充電器に必要とされる50KVA（2基で100KVA）の電力をリチウムイオン蓄電池システムを搭載した急速充電器を用いることで、20KVAに抑制（2基で40KVA）し、低容量（45kw）のPVで再エネ稼働するEVを実現する点。また、定置型リチウムイオン蓄電池システムを導入することで不安定なPV電力を安定供給するとともに、余剰するPV電力を市庁舎に用いて商用電力を抑制（ピークカット）することを可能とする。 これによって、市庁舎に供給されている商用電力を再生可能エネルギーによる電力に代替えすることにより、エネルギー起源CO2を年間23.14t-CO2削減するとともに、内燃機関バス及び乗用車のCO2排出量をゼロ化し、真にゼロエミッションのEV交通システムを創出する。					

3. 地域への普及方針等

普　及　方　針	市の計画に基づき、再エネで稼働する電気バスはむらん及び市内のEV稼働について実現し、広報誌、羽村市公式サイト、マスメディア等の広告媒体を活用して、広く活用を求め、自家用自動車（特に内燃機関のもの）からの利用の転換を進め、PVによるCO2排出量の削減効果だけではなく、石油系エネルギー起源CO2排出量の削減を推進する。 市ではこれまで市民及び小規模事業者に対してEV導入補助を独自に行うとともに、急速充電器の官民相互利用によりEVの普及拡大や利用状況・充電量などの調査を実施しているところであり、本事業を実施することで、EVの普及拡大がより進展することが期待される。
副 次 的 効 果	市域の交通状況、公共交通機関状況から、本事業は羽村市という地域の特性にあったスマートコミュニティにおけるスマート交通システムの基幹となるもので、今後ICTの活用などによって利用・接続の最適化を進めることで、スマート交通システムとなり得るものでもある。